

整理番号：6－1

提言題名：市民に対しヘルメット着用の努力義務の呼びかけ

【提言要旨】

先日娘の同級生が下校中、自転車と自動車の事故で亡くなりました。中学校では自転車通学時のヘルメットは全員着用しています。高校生は学校でも一般人と同じ努力義務とされており、着用している生徒数は半分以下です。取手市には5校も県立高校があり、そのうち3校は駅から離れ、自転車通勤の生徒が多い場所にあります。茨城県は自動車社会であり、通学時は自転車利用者の多い県であります。県立高校が5校もある取手市は他の市町村から比べても登下校中の事故リスクが高い市であり、その中で起きた事故です。

取手市として、市民に対しヘルメット着用の努力義務を何度もしつこく呼びかけてほしいです。藤代駅を利用し、そのから自転車を利用する生徒も多く、ヘルメット保管場所(雨に濡れない)がない事が着用率の低さでもあると考えています。学生や一般向けのヘルメット用ロッカー設置など、他の市町村のモデルになるような取り組みをして、市民の安全、生徒の命を守ってほしいです！

(令和7年4月受付)

【回答要旨】

先日発生しました自転車事故に関しましては、市としても大変心を痛めているところであります。

自転車事故については、警察庁の統計では、令和2年から令和6年までの頭部が致命傷となった事故のうち、ヘルメットを着用していなかった方の致死率は着用していた方に比べて約1.7倍となっていることから、被害軽減措置のためヘルメットにより頭部を守ることが重要視されており、特に事故率が高い10代におけるヘルメット着用率向上が非常に重要であると認識しております。

市としましては、令和5年4月1日からすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となったことを受け、ヘルメット着用による安全効果をホームページに掲載して周知を図るとともに、交通安全キャンペーンにおける着用の呼びかけ、市営自転車駐車場におけるポスター掲示やのぼり旗の設置、小学校における交通安全教室など、ヘルメットの着用促進に努めております。

加えて、取手警察署と連携を図り、高校生の利用者が多い駅周辺において自転車利用者への着用の呼びかけ、市内の高校に訪問して生徒への着用促進の依頼を実施しているところであります。

また、ご提案いただきましたヘルメット保管場所の確保等については、着用率向上の方策として今後の参考とさせていただきます。

引き続き、関係機関と協力してヘルメット着用の重要性を周知するなど、自転車利用者の交通安全意識の啓発に努めてまいります。

貴重な御意見をいただきありがとうございました。

(安全安心対策課 令和7年4月回答)